

メール受信拒否設定ガイド

第2版 平成19年4月発行

エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社

1. 目次

1.	目次	1
2.	本ご利用ガイドについて	2
3.	ログイン	3
4.	迷惑メール拒否設定を行う	4
4-1.	メールフィルタとは？	4
4-2.	メールフィルタ画面の見かた	5
4-3.	新しくフィルタルールを作成する	5
4-4.	既に登録されているフィルタルールの設定を変更する	10
4-5.	既に登録されているフィルタルールを削除する	11
4-6.	複数のフィルタルールを使う	12
4-7.	フィルタルールの順番を変える	13
4-8.	メール転送設定・迷惑メールブロックサービスを併用される場合の注意	14
4-9.	メールアドレスを変更される場合の注意	15

2. 本ご利用ガイドについて

本ご利用ガイドでは、「Web メール」の機能の一つである「メールフィルタリング」機能を使用して迷惑メール等を受信拒否するための設定方法、ご利用方法、ならびにご利用に関する疑問やトラブルなどに対する対処方法をご案内させていただきます。

- ・本ご利用ガイドの一部または全部をエヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社の許可なく複製することを禁じます。
- ・本ご利用ガイドの内容は予告なく変更することがあります。
- ・本ご利用ガイドに掲載されている画面は開発時点の情報に基づいており、実際の画面と異なる場合があります。

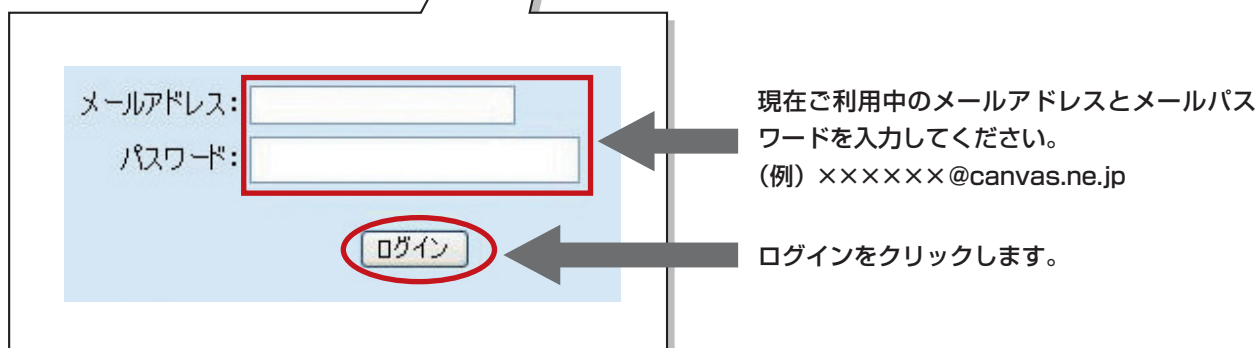
3. ログイン

迷惑メール受信拒否設定を行うためには、一旦 Web メールサービスにログインする必要があります。ブラウザから以下の URL にアクセスします。

Web メール URL : <https://www4.canvas.ne.jp/>

- ※ 「Web メールサービス」は、エヌ・ティ・ティ・メディアサブライ株式会社が提供する無料オプションサービスです。
- ※ 「Web メールサービス」は、個人情報保護のため SSL による暗号化通信のみに対応しております。SSL 対応のブラウザをご利用ください。

以下のログイン画面が表示されますので、お客様のメールアドレスとメールアドレスを入力して「ログイン」をクリックしてください。

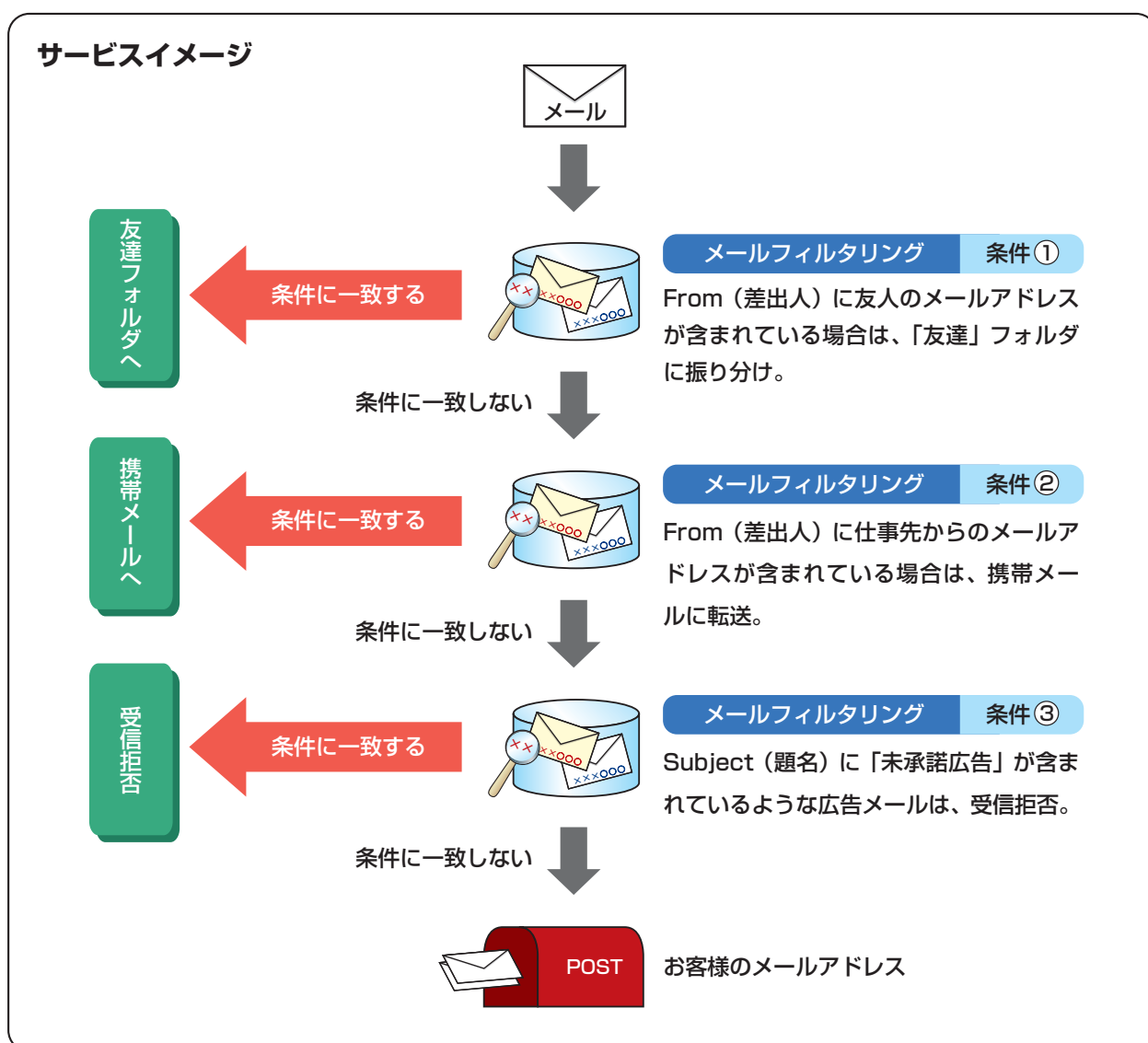


4. 迷惑メール拒否設定を行う

Webメールの機能の一つであるメールフィルタリング機能を利用して、迷惑メールを拒否するための手順を説明します。

4-1. メールフィルタとは？

お客様のメールアドレス宛にメールが届いた時に、メールの中身をチェックして、お客様が事前に設定した条件に該当する場合に、振り分け・転送・受信拒否などの自動処理を行う機能です。



フィルタリングをご利用になる場合の注意

既にメール転送サービスをご利用中で、転送メールを転送元アドレスに「保存しない」を設定されている場合、メールフィルタリングはご利用になれませんのでご注意ください。

4-2. メールフィルタ画面の見かた

画面上部のメニューバーから「フィルタ登録」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。



フィルター一覧画面では、以下のような、メールフィルタに関する設定全般を行います。

- ・ 新しくフィルタルールを作成する (P-5)
- ・ 既に登録されているフィルタルールの設定を変更する (P-10)
- ・ 既に登録されているフィルタルールを削除する (P-11)
- ・ 既に登録されているフィルタルールの順番を変更する (P-13)

4-3. 新しくフィルタルールを作成する

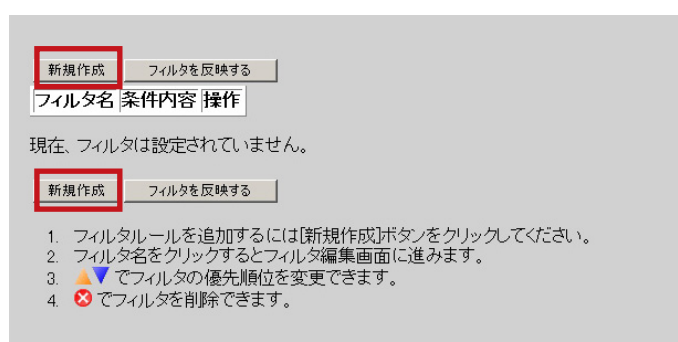
では以下のサンプル例を元に、フィルタルールの新規作成手順を説明します。

例) メール の 件名 に「未承諾広告」が含まれるメールは受信したくない。



対象：「メールの件名」に
条件：“未承諾広告”を「含む」場合
動作：「受信拒否」する。

① 「フィルター一覧画面」の「新規追加」をクリックします。



② まず、フィルタ名設定画面が表示されますので、フィルタ名を入力します。サンプルでは「未承諾広告」メールを拒否する設定なので「未承諾広告拒否」と入力します。

(1) 作成するメールフィルタに名称をつけてください。

未承諾広告拒否

入力したら「次へ」をクリックします。

③ 次に、フィルタ対象設定画面が表示されますので、フィルタのチェック対象とする項目を選択します。選択できる項目は以下となります。

- ・ **差出人のメールアドレス**
差出人のメールアドレス (From) を対象としてチェックを行います。
- ・ **メールの件名**
メールの件名 (Subject) を対象としてチェックを行います。
- ・ **メールの本文**
メールの本文を対象としてチェックを行います。
- ・ **その他のメールヘッダ**
上記以外の特定のメールヘッダを対象としてチェックを行います。
上級者向けの設定です。
※メールヘッダについては書籍やインターネット等でご確認下さい。

サンプルでは、件名でチェックするので「メールの件名」を選択します。

選択したら「次へ」をクリックします。

- ④ 次に、フィルタ条件設定画面が表示されますので、チェックするキーワードを入力し、そのキーワードが、本手順の③で設定したフィルタ対象に、「で始まる」「を含む」「で終わる」「で始まらない」「含まない」「で終わらない」のどれに当てはまるのか？を指定します。

選択したフィルタ対象ごとに設定できる条件が以下のように異なりますのでご注意ください。

フィルタ対象	設定できる条件
差出人のメールアドレス	メールアドレス (From) が <input type="text" value="キーワード"/> <input type="text" value="を含む・を含まない・・・"/>
メールの件名	メールの件名 (Subject) が <input type="text" value="キーワード"/> <input type="text" value="を含む・を含まない・・・"/>
メールの本文	メールの本文が <input type="text" value="キーワード"/> <input type="text" value="を含む・を含まない・・・"/> <small>※メールのサイズが(メールヘッダ、本文、添付ファイルを合わせて)1MB を超える場合、本文チェックは行われませんのでご注意ください。</small>
その他のメールヘッダ	メールヘッダ <input type="text" value="ヘッダ項目"/> が <input type="text" value="キーワード"/> <input type="text" value="を含む・を含まない・・・"/> <small>※特定のメールヘッダを指定する場合は、キーワードに併せてヘッダ項目も指定して下さい。</small>

サンプルでは「メールの件名」を条件としますので、キーワードに“未承諾広告”を入力し、リストメニューから「含む」を選択します。

入力したら「次へ」をクリックします。

- ⑤ 次に、フィルタ動作設定画面が表示されますので、本手順の④で設定した条件に合致した場合の動作を設定します。設定できる動作は以下のとおりです。

指定フォルダ に保存する。

指定したフォルダに振り分け処理を行いたい場合に指定します。

指定のメールアドレス 宛に転送する。

指定したメールアドレス宛に転送処理を行いたい場合に指定します。

※「転送元メールアドレスに保存する」にチェックを入れると、転送後にお客様のメールボックスに保存します。ただし、フィルタを複数設定している場合は次のフィルタでチェックを行います。

受取を拒否する。

メールを受信せずに拒否します。送信元にはエラーメールが返されます。

『受け取りを拒否する』を選択する場合のご注意

フィルタ条件に合致した場合の動作として、『受け取りを拒否する』を指定した場合、設定した条件に合致するメールは、どんなメールであっても、受信を拒否します。一旦、受信拒否されたメールは元に戻す事ができませんので、受信拒否設定を行う際は設定内容にくれぐれもご注意ください。

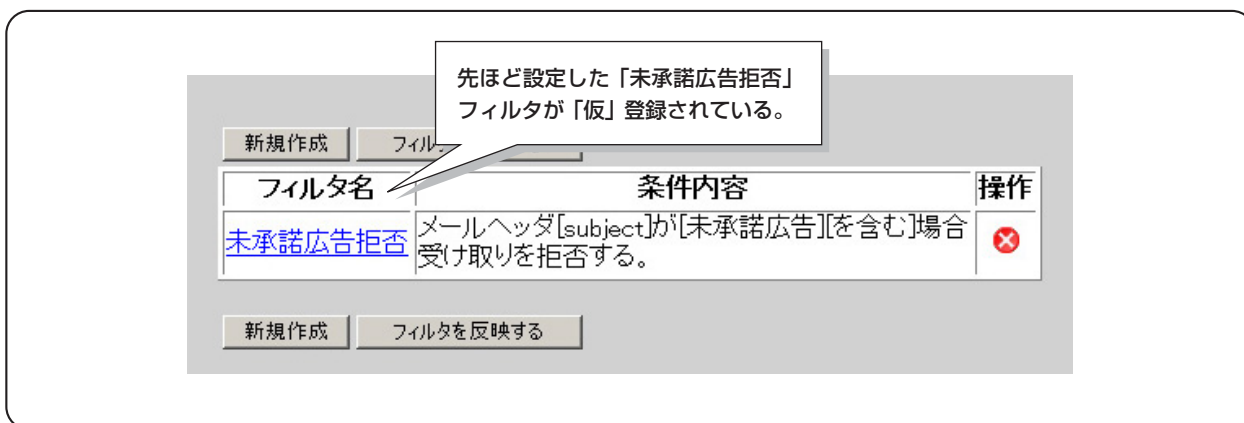
サンプルでは受信拒否したいので、「受取を拒否する」を選択します。

受け取りを拒否する。

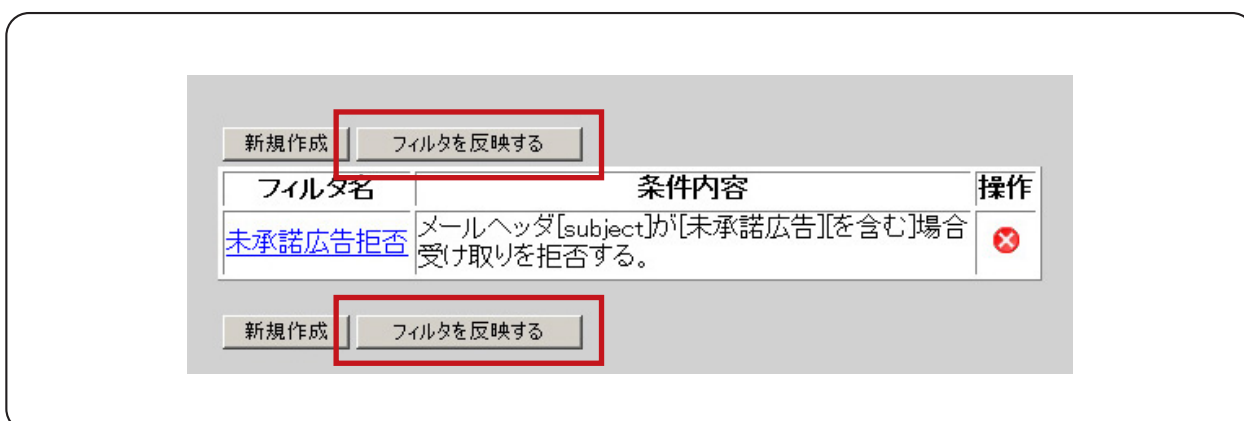
設定したら「ルールを登録する」をクリックします。

ルールを登録する

- ⑥ 登録に成功すると、「フィルター一覧」画面が以下のように表示されます。



- ⑦ ただし、この状態は「仮登録」状態で、実際にはまだ設定が保存されていないため、別のページに移動したり、ログアウトしたりすると先ほどの設定が失われてしまいます。設定を保存するには「フィルタを反映する」をクリックします。



これでフィルタの登録は完了です。

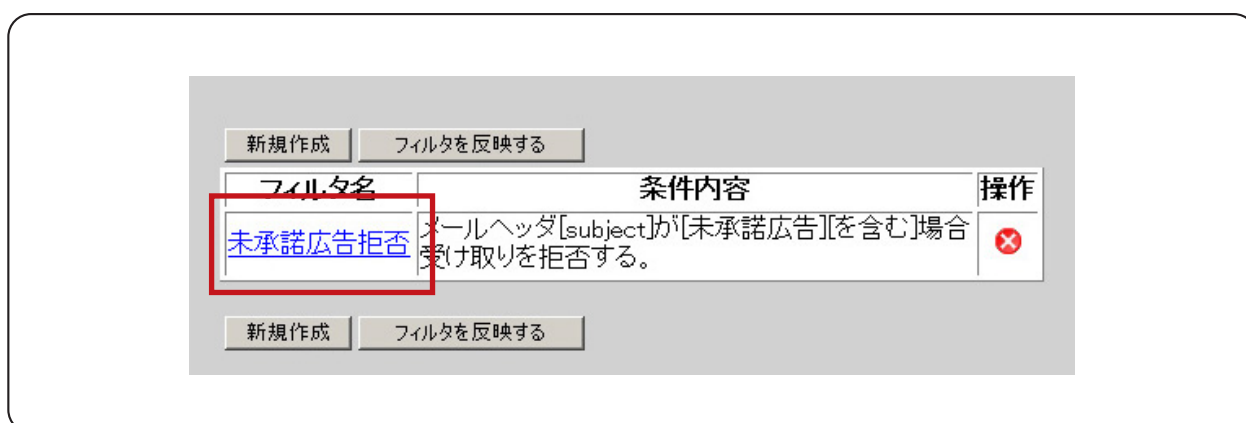
フィルタリング設定時の注意

フィルタルールを作成しただけでは、フィルタは有効になりません。最後に必ず「フィルタを反映する」をクリックしてください。

4-4. 既に登録されているフィルタールールの設定を変更する

次に、既に登録されているフィルタールールの内容を変更する場合の手順を説明します。

- ① フィルター一覧画面に表示されている、変更したいフィルタのフィルタ名をクリックします。



- ② 『4-3. 新しくフィルタールールを作成する (P-5)』場合と同じ流れで画面が進みますので、それぞれ条件や動作などを変更して進めてください。
- ③ フィルタ動作設定画面で「ルールを登録する」をクリックして、変更したルール内容を登録します。
- ④ 新しくフィルタールールを作成した場合と同じように「ルールを登録する」をクリックしただけでは設定が保存されていませんので、フィルター一覧画面で「フィルタを反映する」をクリックして設定を保存します。

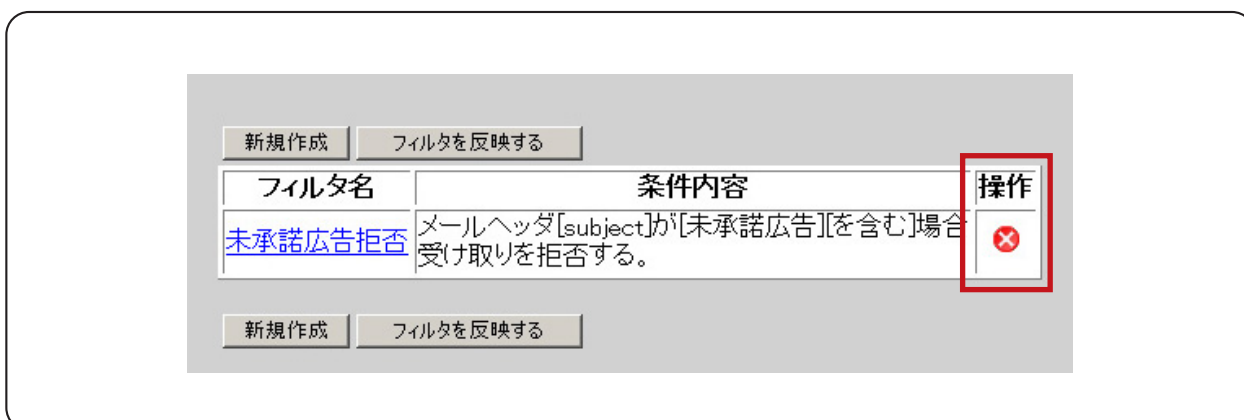
フィルタリング設定時の注意

フィルタールールを変更しただけでは、フィルタは有効になりません。最後に必ず「フィルタを反映する」をクリックしてください。

4-5. 既に登録されているフィルタルールを削除する。

既に登録されているフィルタルールの内容を削除する場合の手順を説明します。

- ① フィルター一覧画面に表示されている、削除したいフィルタの操作欄に✖ボタンが表示されていますので、これをクリックします。



- ② 「削除」をクリックするとフィルター一覧画面からは消えますが、登録時・変更時と同じように、この時点では設定が保存されていないので「フィルタを反映する」をクリックして設定を保存します。

フィルタリング設定時の注意

フィルタルールを削除しただけでは、フィルタは有効になりません。最後に必ず「フィルタを反映する」をクリックしてください。

4-6. 複数のフィルタルールを使う

フィルタルールを複数登録している場合は、フィルタ一覧に表示されている上のルールから優先的に判断されます。

例えば、

- ・ 仕事関連のメール（題名に「仕事」を含む）は「仕事」フォルダに振り分けたい。
 - ・ 広告メール（題名に「仕事」を含む）は受信拒否したい。
- という場合に、以下のような設定を行なったとします。

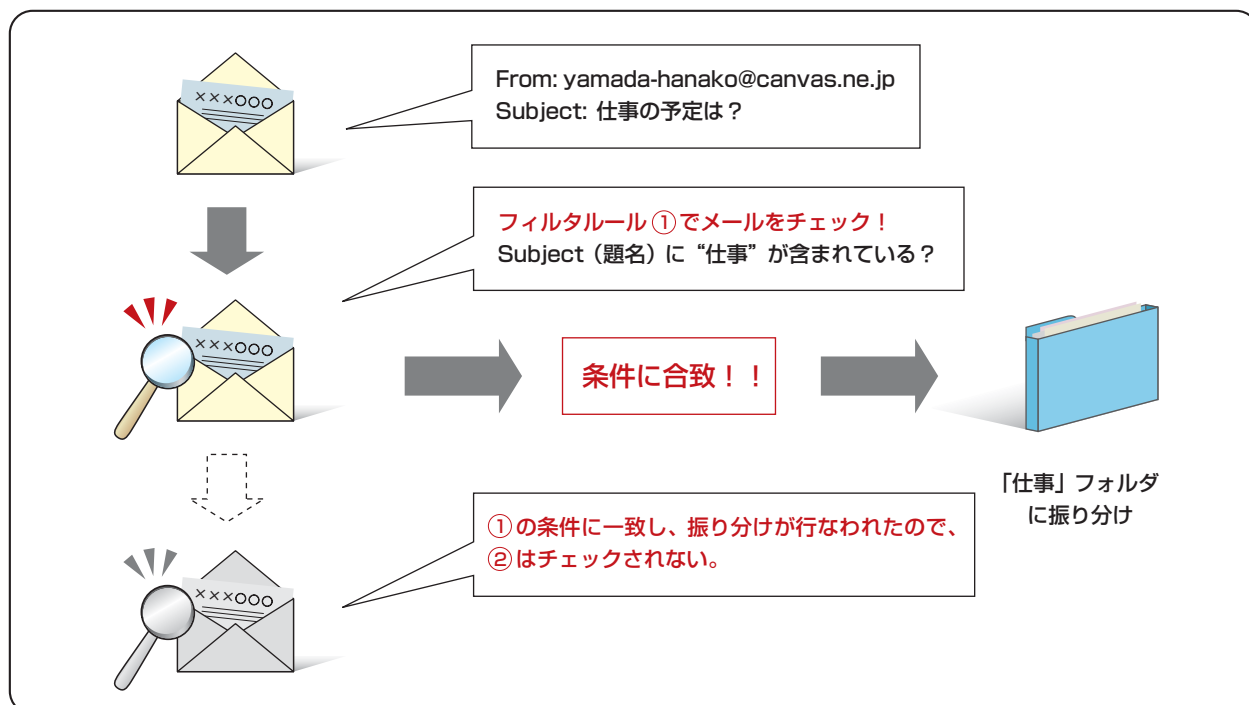
フィルタルール ①

条件：Subject（題名）に“仕事”を「含む」
動作：「仕事」フォルダに振り分け。

フィルタルール ②

条件：Subject（題名）に“未承諾広告”を「含む」
動作：受信拒否

この場合に例えば、広告メール主が題名に「未承諾広告」と「仕事」を両方含めてメールを送ってくるとどうなるでしょうか？



というように、下のルールで振り分けたい内容のメールでも上のルールが優先されてしまいますので、フィルタルールの順番に注意して設定する必要があります。

4-7. 既に登録されているフィルタールの順番を変更する。

- ① フィルタールの順番を変更する場合には、フィルター一覧画面より、順番を変えたいフィルタールの「操作」欄にある矢印ボタンをクリックします。

フィルタ名	条件内容	操作
花子さんからのメール	メールヘッダ[from]が[yamada-hanako@canvas.ne.jp]を含む場合 [花子さん]に保存する。	▼ ×
仕事	メールヘッダ[subject]が[〇〇〇株式会社]を含む場合 [仕事]に保存する。	▲ ▼ ×
家族からのメール	メールヘッダ[from]が[yamada-XXXX@canvas.ne.jp]を含む場合 [家族]に保存する。	▲ ×

順序を変えたいフィルタールの矢印ボタンをクリックします。例では「仕事」フィルタの優先度を上げたいので、上をクリックしてみます。

▲・・・優先度を上げます。
▼・・・優先度を下げます。

- ② すると、フィルター一覧画面で順番が変更されます。ただし、この時点では、変更が保存されていないので「フィルタを反映する」をクリックして変更を保存します。

フィルタ名	条件内容	操作
仕事	メールヘッダ[subject]が[〇〇〇株式会社]を含む場合 [仕事]に保存する。	▼ ×
花子さんからのメール	メールヘッダ[from]が[yamada-hanako@canvas.ne.jp]を含む場合 [花子さん]に保存する。	▲ ▼ ×
家族からのメール	メールヘッダ[from]が[yamada-XXXX@canvas.ne.jp]を含む場合 [家族]に保存する。	▲ ×

「仕事」フィルタが一番上になりました。

「フィルタを反映する」をクリックして設定を反映すれば完了です。

フィルタリング設定時の注意

フィルタールの順番を変更しただけでは、フィルタは有効になりません。最後に必ず「フィルタを反映する」をクリックしてください。

4-8. メール転送設定・迷惑メールブロックサービスを併用される場合の注意

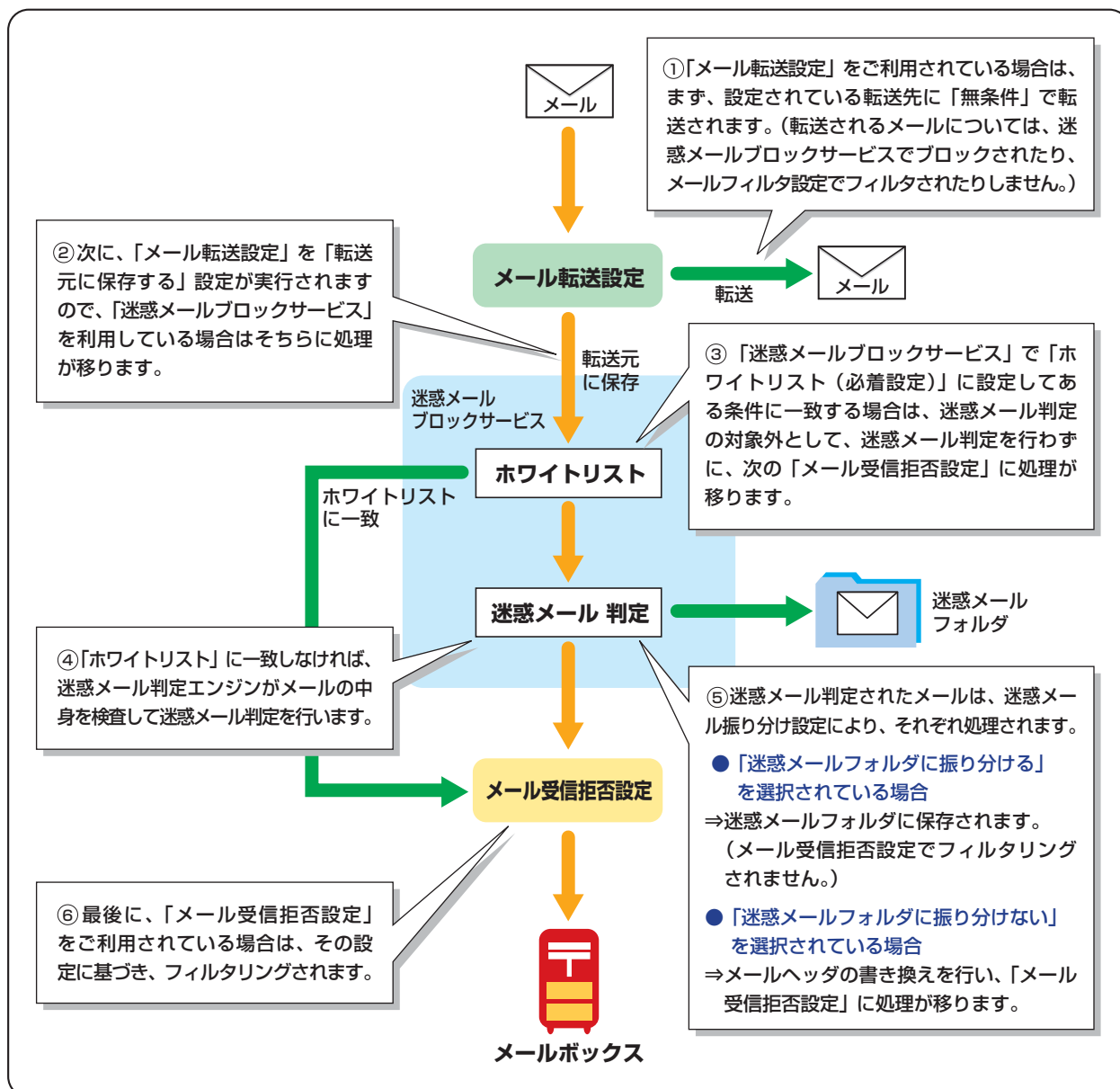
「メール受信拒否設定」を他のオプションサービス（「メール転送設定」、「迷惑メールブロックサービス（有料）」）と併用される場合は以下の点にご注意下さい。

- ・「メール受信拒否設定」を設定している場合、「メール転送設定」で「転送元に保存しない」は選択できません。「転送元に保存する」を選択してください。
- ・「メール転送設定」で「転送元に保存しない」を設定している場合、「メール受信拒否設定」は設定できません。一旦、「転送元に保存する」に設定を変更した後で、メールフィルタを設定してください。
- ・「メール受信拒否設定」以外に、「メール転送設定」「迷惑メールブロックサービス（有料）」を併せてご利用される場合、以下の順番でメールは処理されます。
 - ① メール転送設定
 - ② 迷惑メールブロックサービス
 - ③ メール受信拒否設定サービス

例として、上記全てのオプションサービスをご利用になられた場合に、受信したメールがどのように処理されるのかを以下に記載します。

※ご利用されていないサービスに関しては、その部分の処理はスキップされます。

図：各オプションサービスを利用している場合のメールの流れ



4-9. メールアドレスを変更される場合の注意

「会員情報ログイン」より、「メールアドレスに関する設定変更」において「メールアドレスの変更」を行った場合、変更前のメールアドレスで登録されていた以下の設定は変更後のメールアドレスに引き継がれません。変更後のメールアドレスで同じ設定を引き続きご利用される場合は、お手数ですがメールアドレス変更後に再度設定を行って下さい。

- メール受信拒否設定（Webメールの「メールフィルタ設定」）
- 迷惑メールブロックサービスの迷惑メール設定
- 迷惑メールブロックサービスのホワイトリスト設定